

8月16日(木)～17日(金)

「第20回 中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会(佐賀大会)」へ参加しました。

今年度の中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会は、佐賀市文化会館で行われました。本校からは、校内選抜の後、県大会で優秀な成績を修めた生物チーム3名が「ゴキブリの活動周期と目的」というテーマでポスター発表をしました。初日には、ポスター発表が行われ審査も並行して行われました。また、夕方には生徒交流会も開催されました。2日目では、口頭発表とポスター交流会が行われました。佐賀大会では、これまでの発表の経験を活かした発表を行っていたように感じました。3年生にとっては、最後の発表会であり、有終の美を飾れたように思います。

以下、参加生徒3名の感想を掲載します。

陶 美聡 さん

中国・四国・九州地区理数科課題研究発表大会では、発表時間と聴講時間が区切られていたため各グループの発表を十分に見て回ることができました。印象に残ったのは、実験材料の入手です。各地域で採集可能な材料を取り上げて発表している班が数多く見られ、着眼点に驚かされる発表を楽しく聞くことができました。私たちの発表では、これまでの反省を活かし、少し余裕を持って質疑応答もできたように思います。これまで2回の大きな大会を経験して、研究の指針や発表する際の工夫点等、さまざまなことを発見し、吸収できたように思います。

大庭 和 さん

1日目のポスター発表では、発表時間と聴講時間が区切られていたので、余裕を持って他校の発表も聞きに行くことができました。私たちの発表では、テーマがゴキブリで身近に感じてもらったのか、多くの人が聞きに来てくださったように感じました。質疑応答では、これまでの経験を生かして余裕をもって楽しく受け答えができたように思います。夕方の生徒交流会では、同じ班になった人が積極的に話しかけてくれたことで他地域のことがわかり楽しいひとときになりました。2日目の口頭発表では、面白い着眼点の発表が多く、1年生もいて驚きました。ポスター交流会では、1日目に仲良くなった人の発表をみることができ、違った視点で楽しみながら学ぶことができました。2つの大きな発表会を経験して、今後を活かして行きたいと強く思いました。

篠原 佳音 さん

中国・四国・九州の学校の研究は、その地域に生息する生物、地学分野では地域のハザードマップによる研究など、地域の特徴を生かした研究テーマが多く、SSHの全国大会とは違った方向性の研究で興味深く参加しました。今回は、自分たちの発表では、これまでの反省を生かし、研究の成果もわかりやすく伝えることができたと思います。発表後の生徒交流会では、短い時間でしたが他県の方々と研究のこと以外のことも話ができとても楽しい時間となりました。2つの発表会を経て多くの研究から自分の今後に対する興味を深める機会となりました。

『2年生諸君、校外の発表会に積極的に挑戦し、財産を蓄えてほしいと願います。』

